



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社 関門海
コード番号 3372 URL <https://www.kanmonkai.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経営支援本部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 072-349-9329

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,526	29.3	184		145		237	
2023年3月期第3四半期	2,726	67.5	87		56		60	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 239百万円 (%) 2023年3月期第3四半期 55百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	17.35	17.35
2023年3月期第3四半期	4.42	

2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,427	818	18.5
2023年3月期	4,860	573	11.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 818百万円 2023年3月期 573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	14.0	300	447.9	240	165.1	330	60.0	24.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社宗國玄品ふぐ

当第3四半期連結会計期間において、連結子会社の株式会社宗國玄品ふぐを吸収合併したことにより、株式会社宗國玄品ふぐは、当社の特定子会社に該当しないこととなり、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	14,000,900 株	2023年3月期	14,000,900 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	302,067 株	2023年3月期	302,067 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	13,698,833 株	2023年3月期3Q	13,698,833 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際に業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、5月に新型コロナウイルス感染症の2類相当から5類への移行後は、消費者の行動意欲も高まり個人消費は持ち直しの動きがみられました。また、インバウンド旅行者についても増加傾向にあり、本部も含めた全体の売上高は、前年同四半期を上回る結果となっております。

当社グループにおいては、夏場のうなぎ料理がデリバリーとの相乗効果等により順調に販売数が増加しており、天然ふぐコースや冬の飲み放題付き定番コースである冬安居コースのほか値ごろ感のあるプレミアムコースなどの販売も好調であり、加えて6月に玄品 本町店でスタートした「女将のカウンター」では代表取締役社長の山口が自らカウンターに立つ新たな業態にも取り組み売上高増加に努めました。

当社グループの主力事業である「玄品」等の直営店舗では、台湾、韓国などのアジア地域のほか欧米各国を含めたインバウンド旅行者は大幅に増加したほか、コールセンターを移転し本格稼働した結果、店舗では営業に集中することが出来たことから客単価アップにも繋がりました。前第3四半期連結累計期間と比較して、直営店舗の既存店売上高は、前年同四半期比36.5%増となりました。当第3四半期連結会計期間末の直営店舗数は、前期末からフランチャイズ店舗からの移管1店舗、フランチャイズへの業態転換により2店舗減少し44店舗、直営店舗の売上高は2,706百万円（前年同四半期比33.5%増）となりました。

フランチャイズ事業におきましては、とらふぐ等の食材販売等の売上高及び既存店の店舗末端売上高ともに前年を上回る結果となりました。当第3四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は、直営への業態転換1店舗、直営からの移管2店舗、中国での新規オープン1店舗により25店舗、とらふぐ等の食材販売、ロイヤリティ等によるフランチャイズ売上高は231百万円（前年同四半期比1.9%増）、国内既存店末端売上高は、628百万円（前年同四半期比18.5%増）となりました。

その他の業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、前期末と変わらず1店舗、本部に係る売上高も含めた当第3四半期連結累計期間の売上高は、その他の業態の店舗においても売上高は増加し、本部においても食材の外部販売及び通信販売に係る売上が増加したこと等により588百万円（前年同四半期比24.7%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,526百万円（前年同四半期比29.3%増）となりました。利益面においては、店舗売上高が大幅に増加したことにより売上総利益は2,346百万円（前年同四半期比27.8%増）となりました。販売費及び一般管理費については、継続してコストの徹底管理を行い生産性向上への取組を進めておりますが、一方でパート・アルバイト人件費の高騰やエネルギーコストの上昇等の変動費が増加したこと等により2,161百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は184百万円（前年同四半期は87百万円の損失）、経常利益は145百万円（前年同四半期は56百万円の損失）となりました。また、特別利益として店舗の立退きに伴う受取補償金100百万円の計上、特別損失として固定資産売却損3百万円、固定資産除却損1百万円により親会社株主に帰属する四半期純利益は237百万円（前年同四半期は60百万円の損失）となりました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

また、当社グループは、主力事業である「玄品」の季節変動が大きいことにより、四半期毎の業績に大幅な変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して432百万円減少し、4,427百万円となりました。これは、繁忙期に係る売上高増加に伴う店舗クレジット等の売掛金の増加245百万円、一括仕入れによる商品及び製品の増加163百万円、店舗の改装工事等による有形固定資産の増加55百万円等の増加要因はあったものの、現金及び預金の減少887百万円、FC転換等による店舗保証金の差替等による差入保証金の減少21百万円等の減少要因によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して677百万円減少し、3,609百万円となりました。これは買掛金の増加41百万円、株主優待引当金の増加11百万円、流動負債の「その他」に含まれる預り金の増加11百万円等の増加要因はあったものの、短期借入金の返済等による純減額555百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税の減少118百万円、1年内返済予定長期借入金を含む長期借入金の返済による減少34百万円、賞与引当金の減少10百万円、固定負債の「その他」に含まれる預り保証金の減少10百万円、社債の償還による減少10百万円等の減少要因によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して245百万円増加し、818百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加237百万円、持分法適用会社の減少に伴う利益剰余金増加高6百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月14日の「2024年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました2024年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,810,177	1,922,402
売掛金	278,563	524,205
商品及び製品	820,395	984,200
原材料及び貯蔵品	30,443	27,789
未収入金	17,922	25,424
その他	44,514	47,935
貸倒引当金	△371	△326
流動資産合計	4,001,645	3,531,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	430,983	487,850
その他(純額)	46,513	45,371
有形固定資産合計	477,496	533,222
無形固定資産		
その他	18,752	16,268
無形固定資産合計	18,752	16,268
投資その他の資産		
差入保証金	295,104	274,083
その他	67,132	72,699
投資その他の資産合計	362,236	346,783
固定資産合計	858,486	896,274
資産合計	4,860,131	4,427,905
負債の部		
流動負債		
買掛金	162,153	203,208
短期借入金	2,840,000	2,284,874
1年内償還予定の社債	10,000	-
1年内返済予定の長期借入金	320,000	602,626
未払金	272,073	270,483
未払法人税等	3,913	1,149
賞与引当金	28,966	18,916
株主優待引当金	17,069	28,100
その他	177,456	73,312
流動負債合計	3,831,633	3,482,671
固定負債		
長期借入金	417,500	100,000
その他	37,854	26,433
固定負債合計	455,354	126,433
負債合計	4,286,987	3,609,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	656,201	656,201
利益剰余金	194,499	438,311
自己株式	△287,998	△287,998
株主資本合計	572,701	816,514
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	383	2,227
その他の包括利益累計額合計	383	2,227
新株予約権	58	58
純資産合計	573,143	818,800
負債純資産合計	4,860,131	4,427,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,726,413	3,526,262
売上原価	889,688	1,179,769
売上総利益	1,836,724	2,346,492
販売費及び一般管理費	1,924,254	2,161,550
営業利益又は営業損失(△)	△87,530	184,942
営業外収益		
受取利息	116	101
助成金収入	64,415	4,981
持分法による投資利益	-	1,142
その他	11,655	2,410
営業外収益合計	76,187	8,635
営業外費用		
支払利息	27,485	24,514
社債利息	7	1
支払手数料	14,864	19,711
その他	2,731	3,562
営業外費用合計	45,090	47,790
経常利益又は経常損失(△)	△56,432	145,788
特別利益		
新株予約権戻入益	750	-
受取補償金	-	100,000
特別利益合計	750	100,000
特別損失		
固定資産除却損	-	1,167
固定資産売却損	-	3,070
特別損失合計	-	4,237
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△55,682	241,550
法人税等	4,829	3,921
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,512	237,629
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,512	237,629

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,512	237,629
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,686	1,843
その他の包括利益合計	4,686	1,843
四半期包括利益	△55,826	239,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,826	239,473
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2022年6月24日開催の定時株主総会決議に基づき、効力発生日である2022年8月31日をもって資本金及び資本準備金の額の減少、並びに剰余金の処分を行いました。

(1) 資本金及び資本準備金の額の減少

会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金の一部及び資本準備金の全額をその他資本剰余金に振り替えております。

①減少した資本金の額

資本金 1,161,025千円

②減少した準備金の項目及びその額

資本準備金 493,363千円

③増加した剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,654,389千円

(2) 剰余金の処分

会社法第452条、第459条第1項第3号及び当社定款第35条の規定に基づき、上記資本金及び資本準備金の振替後のその他資本剰余金のうち998,188千円を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の欠損を填補いたしました。

①減少した剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 998,188千円

②増加した剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 998,188千円

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、連結子会社の株式会社宗國玄品ふぐを吸収合併したことにより、株式会社宗國玄品ふぐは、当社の特定子会社に該当しないこととなり、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から外れております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。